

令和5年2月
(2023年)

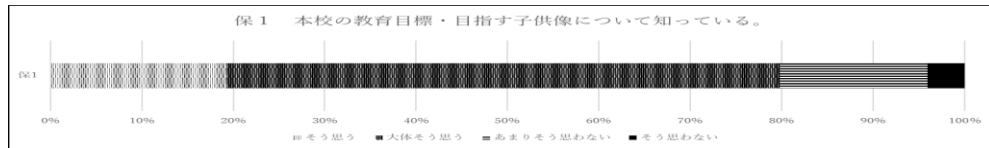
吹田市立佐竹台小学校
校長 西岡 孝

令和4年度「学校教育アンケート」結果報告

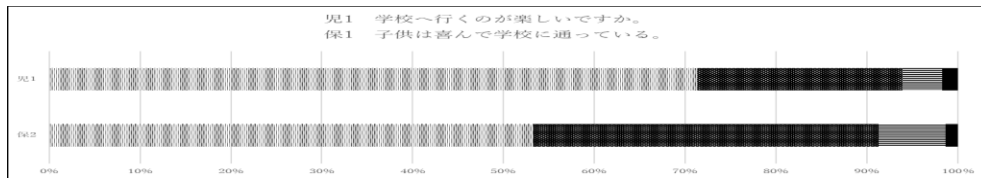
余寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本校学校教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、昨年12月に実施いたしました学校教育アンケートに多くの回答をいただき、貴重なご意見を聞かせていただくことができました。ご協力ありがとうございました。いただいたご意見は学校全体で考察を加え、本校の取り組みの成果と課題を検証するとともに、次年度に向けてのさらなる改善のために活用させていただきます。以下に集計・分析結果をお伝えします。

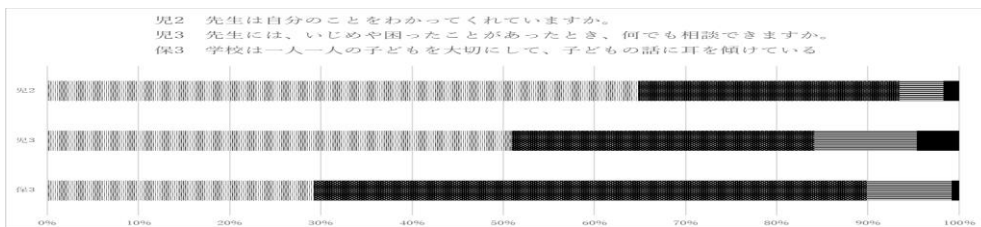
◆アンケート集計結果報告



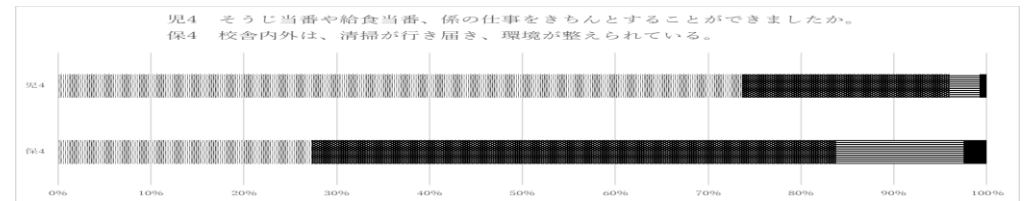
教育目標やめざす子ども像について、約8割の保護者の皆さまの理解を得ました。さらに多くの皆様にご理解いただけるように、教育活動と教育目標のつながりを学校だより等で示すとともに、今後も実現に向けて、さらなる努力を重ねてまいります。



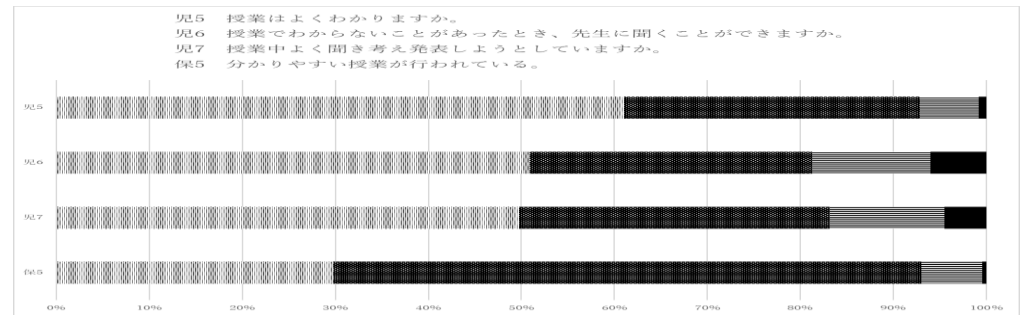
9割以上の児童が「学校へ行くのが楽しい」と回答し、約9割の保護者の皆さまから「喜んで通っている」と回答いただきました。昨年に比べ様々な行事や活動を再開し、児童が「楽しい」と感じられることが増えました。今後も、「より楽しい」と思える学校をめざしていきます。



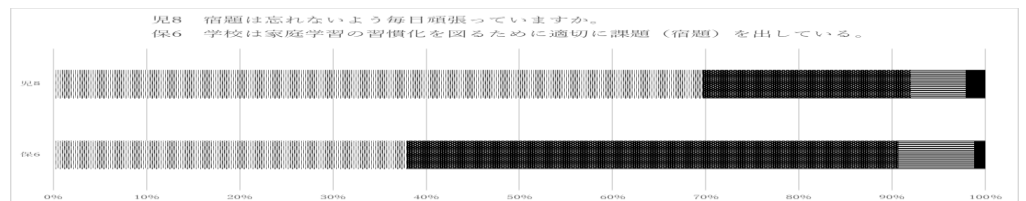
昨年よりも多くの児童が「自分のことをわかってくれている」と感じており、「相談できる」と回答した児童が増えていました。一方で、相談がしにくいと感じている児童もいるため、生活アンケート後の聞き取りや保護者と連携することで、誰もが安心できるよう、子どもの心に寄り添う指導を目指していきます。



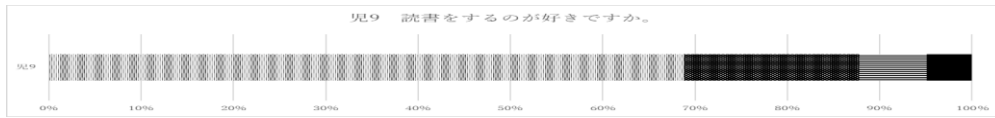
アンケートの記述においても「掃除について」のご意見が寄せられました。「掃除や係の仕事をきちんとしている」と、9割以上の児童が回答していますが、保護者の皆さまの認識とは、1割ほどの差があるようです。今年度も、定期的な業者と教職員のトイレ清掃を行うました。今後も、よりよい環境づくりをめざし、清掃道具の整備や清掃方法について改善に努めてまいります。



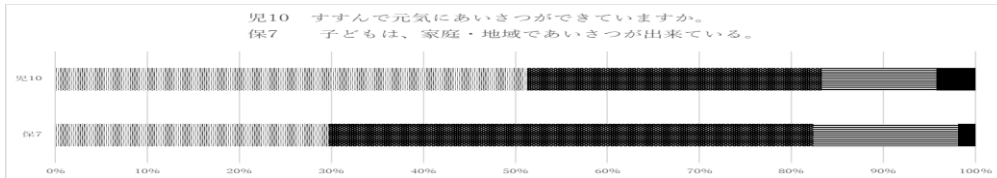
9割の児童は「授業はよくわかる」と回答しており、「質問できる」と肯定的な回答した児童も8割となりました。本校では「子どもが考えたい、伝えたいと思える授業づくり」をテーマに国語科を中心とした授業研究を進めています。授業の中で「問い」を持ち、全体で「問い」を共有し、学びあいにより解決していく授業を進めることで、友だちの意見を聞き、自分の意見を発表する授業をめざしています。引き続き、児童が意欲的に取り組めるような授業ができるように研究を深めていきます。



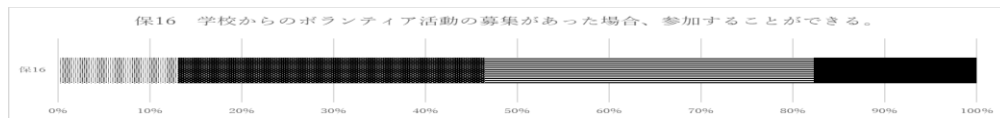
宿題に関して9割の児童がしなければならぬこととして捉え、きちんと取り組もうとすることがわかります。また、9割の保護者の皆さまからも、「適切」と回答いただきました。今後も、一人一台のSUNネット端末も活用した家庭学習についても検討していきます。



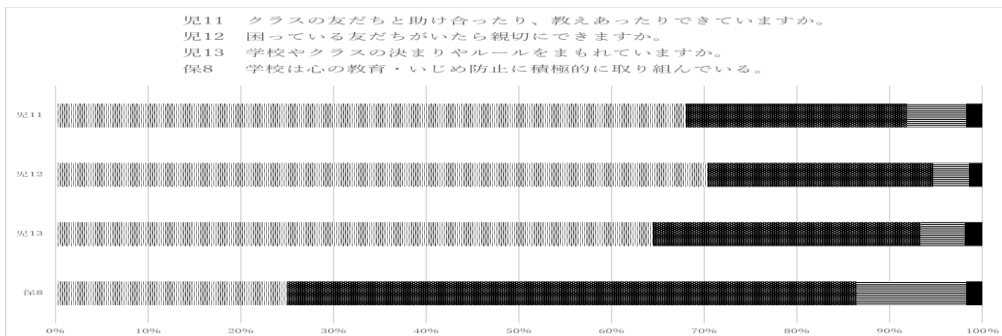
昨年同様、「読書をするのが好き」と答えた児童が9割近い数値を示し、読書をする習慣が身についているように感じられます。今後も電子版の市内図書館利用や、保護者ボランティアによる読み聞かせなど、本に触れる機会を増やしてまいります。



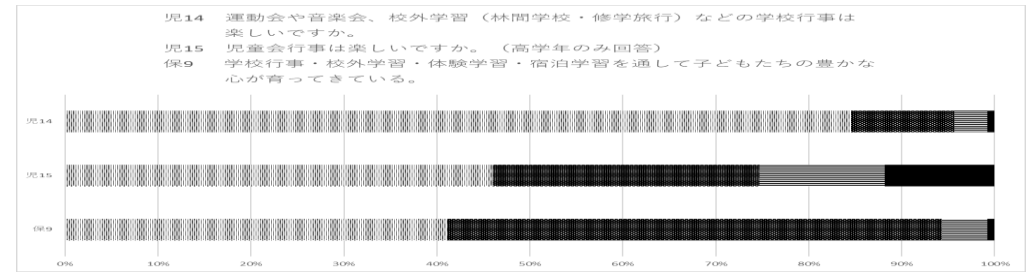
登下校時の挨拶に関して、多くの児童が元気に挨拶できています。しかし、挨拶は人とのつながりの中で大切なことであるため、100%を目指したいと思います。学校生活や児童会のあいさつ運動を通して、児童の中に挨拶をする習慣をつけていき、「あいさつ名人」になれるよう指導をしていきます。ご家庭でもお声かけをお願いします。



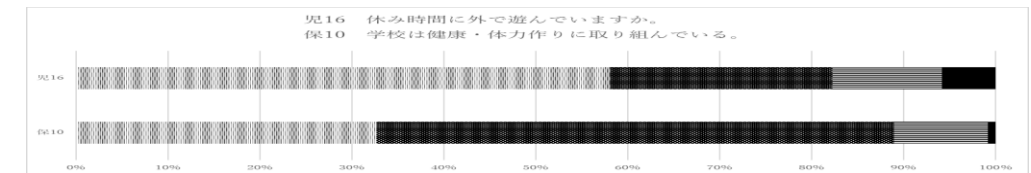
昨年度と同様、半数近くの保護者がボランティアにご協力いただける結果となり、非常に嬉しく思います。今年度は、園芸と読書ボランティア活動に加え、「太陽の広場」のフレンドさんとしても参加していただき、ありがとうございました。次年度も、よりよい学校環境づくりのためのボランティア活動のお願いをする予定にしております。支援とご協力をお願いします。



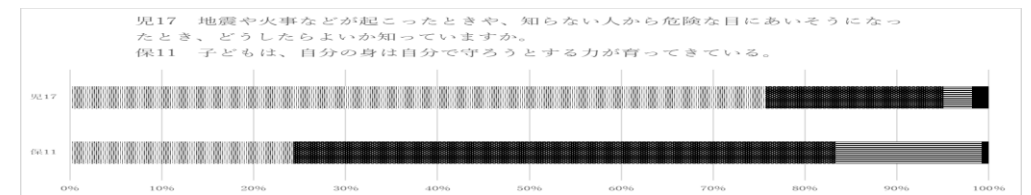
9割以上の児童が「友だちと助け合ったり、困っている友だちに対して親切したりできる」と回答しています。心の教育・いじめ防止については、いじめ予防授業やインクルーシブ教育を全学年で取り組んでいます。保護者の回答も、肯定的な回答が昨年より1割ほど増え、8割を上回りました。学校が安心して学びあえる場となるよう、引き続き心の教育に取り組んでいきます。また、いじめに対しては、未然防止、早期発見、早期対応により一層の努力を行ってまいります。



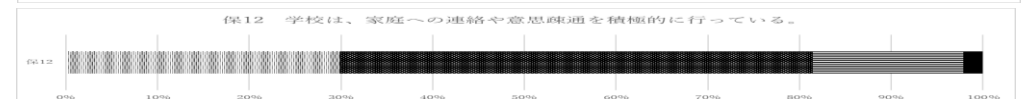
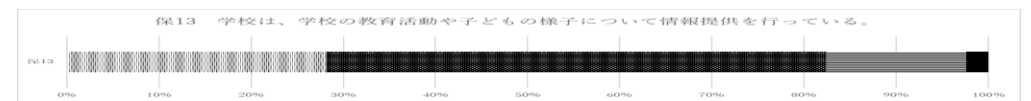
今年度は、運動会や音楽会などを実施することができました。児童からも保護者の皆さまからも良い回答をいただいています。しかし、児童会行事では、「きょうだい学年交流」や「おおなわ大会」などに取り組むことができましたが、肯定的な回答が8割を下回りました。今後は、よりよい学校行事を行うことができるよう、児童とともに検討していきます。



今年度、2学期末から休み時間に運動場で遊ぶことのできる学年の制限もなくなりました。また、体を動かすきっかけとして児童会の「おおなわ大会」やマラソン週間を実施しました。そのため、児童の回答も昨年度に比べ、肯定的な回答が増えました。3学期よりきょうだい学年で体を動かす「わくわくタイム」も実施しています。次年度も、児童が楽しく体力向上できるような取組を計画・実施してまいります。

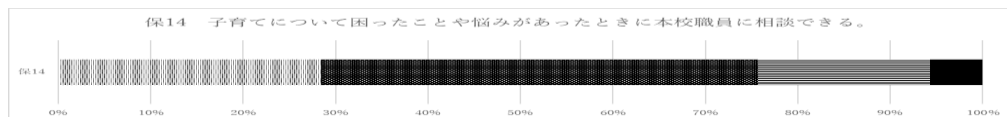


昨年度よりも多い、9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。今年度は、集団下校や引き取り訓練等の避難訓練も実施し、どのように身を守るのかについて考えることができました。訓練の中で、PTAより寄付していただいたトランシーバーを活用し、より実際に近い状況で行うことで、子どもたちの安全を守るよう努めています。今後もマニュアルなどの見直しを継続し、いざというときに「自分の身を自分で守れる力」を育てていきます。

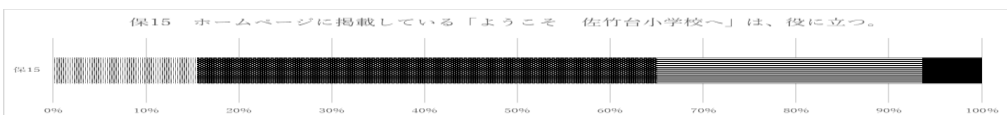


昨年度よりも多い8割の保護者の皆さまから「意思疎通を積極的に行っている」と回答いただいています。すべての保護者の皆さまから評価していただけるよう、さらに積極的に

保護者の皆さまのご意見に耳を傾け、信頼関係を築きながら、互いに連携して児童の指導育成をしてまいります。迅速に対応できなかったことがありましたので、ホームページの整理を行い、メール等も活用し、必要な情報をより早く、より正確に、皆さまの元に届けられるよう、工夫、改善を行ってまいります。



保護者の皆様がより気軽にご相談いただけるよう、連絡をより密にし、信頼関係の構築に努めます。また、ご相談内容によっては、担任一人に対応するのではなく、学年や学校全体で共有し組織として対応してまいりますので、ご安心ください。



学校生活について、より共通理解をすることができるための資料として作成しています。6割近くの保護者の皆さまから評価をしていただきました。佐竹台小学校のホームページからご覧いただけますので、今後ご活用ください。

《記述によるご意見・ご質問に対して》

- ◆ 校内の環境整備(特にトイレ掃除)についてのご意見を多数いただきました。コロナ禍であったためトイレ掃除が難しい面もありますが、教職員や業者の清掃とともに、日常の掃除の仕方やトイレの使い方を改善していきます。
- ◆ Sun ネット端末については、日常より活用する機会を増やしています。今後も家庭学習なども含めた有効な活用を検討していきます。
- ◆ 今年度、学校行事を再開してまいりました。それぞれの行事について、好評をいただいたものがあった一方で、様々な課題やご意見をいただきました。次年度の行事運営につきましても、児童の安全を第一に考え、より充実したものになるよう検討してまいります。
- ◆ 児童の心を育むために、日常より児童の些細な行動にも目を向け、担任や学年の教師とも連携を図り、早期に対応していきます。
- ◆ 家庭と学校との連携を図るための連絡については、より正確により早くお知らせできるよう努めてまいります。次年度の4月中旬より、学校と家庭をつなぐ新しいシステムも導入、開始する予定です。
- ◆ 豊かな人間性を育むために、今後もいじめ予防授業等の心の教育の充実を図り、より組織的な対応をしてまいります。

《課外クラブ・太陽の広場・土曜日の学校開放・わかたけについて》

○ 課外クラブ

学校の教育課程外の活動。教育活動の一環として各学校が自主的に実施しており、教師のボランティアにより運営しています。

児童の「やりたい・がんばりたい・もっと専門的に学びたい」という意欲に応えようと、本校教職員がチーム作りを目的とし、令和4年度は、バドミントン部とサッカー部が活動しています。

○ 太陽の広場

吹田市教育委員会青少年室が各中学校区で実施。地域教育協議会に委託し、フレンドさん(ボランティア)による運営・管理のもと実施しています。

吹田市では地域の方の協力により「地域の子どもは地域で守り育てる」の視点に立ち、児童が安心して安全に過ごせる居場所づくりの一つとして、こどもプラザ事業「太陽の広場」を実施しています。「太陽の広場」はフレンドさんの見守りのもと、運動場での自由遊びを中心として異年齢での交流を図りながら、自主的に活動できる場となっています。

○ 土曜日の学校開放

吹田市教育委員会青少年室・佐竹台地区青少年対策委員会が運営・管理をしています。児童の「生きる力」を育成するため、活動の場づくりとして、土曜日の午前中に小学校の校庭(雨天時は体育館)を「遊び場」として開放しています。

○ 留守家庭児童育成室「わかたけ」

吹田市教育委員会・放課後子ども育成室が管理・運営をしています。吹田市では保護者が働いていたり、病気等のため、放課後、家庭に帰っても留守家庭になったりする児童の健全育成を図るため、すべての小学校内に、留守家庭児童育成室を開設しています。